

# Suzanne



## スザンヌ

1986年10月28日熊本市(旧植木町)生まれ  
「クイズヘキサゴンII」、「サンデーネクスト」などに出演し、同じ九州福岡でも「豆ごはん」にレギュラー出演  
2008年11月「熊本県宣伝部長」に就任した

熊本県宣伝部長のスザンヌさんに、「熊本大好き」と公言する  
極意を語ってもらいました

### 熊

本はたくさん良いところがありま  
す。その中でも、やっぱり「水」が

出て改めて熊本の水は綺麗なんだって思  
いました。

一番の熊本の魅力ですね。水がおいしい  
から、野菜もみずみずしいもの  
ができる。水道からミネラルウ  
ォーターが出るなんて言います

熊本は自然が豊かで、山も川もあって、  
少し行けば海  
もあります。  
気軽に温泉に  
も行くといいですね。

### 熊本の魅力は、やっぱり

### おいしい「水」

けど、東京では考えられません。向こう  
では、水道水をそのまま飲むなんてでき  
ない。熊本を離れて、水が変わったこと  
で肌がすぐく荒れたんです。「水にお金を  
出すの?」と不思議な感覚でしたが、外に

すると、「熊本はそんなことがあるんだ」  
本の人にとって当たり前だと思  
っていたことが、他県の人から

### 熊

## おもてなしに必要なのは 「知る」こと。そして「笑顔」

と思われること  
が多い。例えば、  
タイキチ  
太平燕はあんな

おいしいのに熊本にしかない。桜納豆を  
知り合いが食べて「馬肉と納豆?」と驚い  
ていたけど、「スタミナがつくね」とご飯  
をおかわりして食べていました。国産量  
もほとんどが熊本で作られていることを  
知らない人が多いし、みかんだって、1  
種類しかないと思っている人がたくさん。  
でも、熊本には、デコポンや晩白柚だっ  
てある。熊本を出て、宣伝部長になって  
格段に、熊本のことを知ることができまし、  
詳しくなりました。この「知る」ことが一  
番大事なのかなと思います。まずそこに  
行って、自分の目で確かめる。そして、  
自分で驚いたことや感じたことを人に話  
して「行ってみたい」と思わせたいですね。  
九州新幹線が開通して、県外の人が大  
くさん熊本に来ると思いますが、笑顔で  
迎えてほしいですね。私はどんなときで  
も笑顔を忘れないようにしています。落  
ち込んでいても、笑っていたら楽しくな  
るでしょ。ムスツとしている人より、笑  
っている人の方が親しみやすい。だから  
笑顔って大事だなんて思います。皆さんも、  
笑顔でおもてなししてください。



## 「笑顔」で起こすサプライズ

温泉、阿蘇、熊本城、いきなり団子、馬刺し、さま  
ざまな誇るものがある、ふるさと『熊本』。3月12日  
に開通した九州新幹線に乗って、多くの人を訪れて  
います。そんな今だからこそ、私たち一人ひとりが「熊  
本」を見つめ直し、良さに気付いてほしいと、熊本を  
代表する2人に話を聞いてきました。この記事は、  
県内市町村の広報担当者が合同で企画・制作しました。





# Kundo Koyama

## 小山薫堂

1964年6月23日 天草市生まれ。  
放送作家として「料理の鉄人」や「THE世界遺産」などを手掛ける。その一方で、映画脚本家としても、初脚本の「おくりびと」が米アカデミー賞外国語映画賞を獲得するなど高い評価を受けている

「くまもとサプライズ」の提案者・小山薫堂さんに「熊本の未来」には何が必要なのかを聞いてきました

く

まもとサプライズは、新幹線開業で熊本に来た人たちを驚かせる(サ

当たり前が幸せ

だと感じて欲しい

サプライズ企画ではなく、熊本の人に「日常をリセ

ットしてもらったための企画です。この企画で、自分の中で、当たり前だと感じているものでも、県外から見れば、すごく特別で驚くような価値をもったものがあることを知ってもらったのです。

僕は県外に出て、熊本の良さを実感しました。上京して体を洗ったり歯を磨いたりするときに水を使いますが、そのときに「やっぱり熊本の水はおいしいなあ」と感じるんです。熊本ではこのようなことを思ったことがありません。豊かな地下水を毎日気持ちよく使うことができる熊本県民はなんて幸せな人たちなんだろうと思いました。それが「当たり前前の幸せ」です。

県民の皆さんに、日常生活の中で「当たり前前の幸せ」を見つけていって欲しいと思います。皆さんが「当たり前」を再認識することがサプライズになり、県外の人への「おもてなし」につながるのではない

と

僕

は、生まれ変わるならシャンパンを作る人になりたいんです。おめでたいときに、シャンパンで乾杯するよ

うなことってありますよね？そんな小さな幸せを演出する人になりたいんです。例えば、天使みたいに、陰に隠れながら、いろんな人生にちよつとしたずらをして、人と人を巡り合わせたい。そして幸せになった人たちをこっそり見るのがうれいですね(笑)くまもとサプライズでも、僕の役割は、皆さんの背中をちよつと押してあげるだけだと思っています。それをきっかけに、熊本の魅力に気付いた人が動いて欲しいですね。

僕は幸せを運ぶ  
天使になりたい

そして、地域の人たちの熱き思いが、熊本を変えます。しかし、全員が

熱き思いを持つ必要はなく、それをみんなが応援していくことが大切なのです。熊本の人には、変えようとしている人を見守り、そして応援する人になって欲しい。それが熊本の幸せであり、みんなの幸福につながると思っていますから。

「新幹線開通」をきっかけに「熊本の魅力を再発見」してほしいと賛同した県内の広報担当者が集まり、取材や写真撮影を行い、みんなで言葉を選んで作り上げた合同企画です。私たちは、取材に一喜一憂しながら2人の思いを形にしました。それは、私たちにとってすべてが「サプライズ」でした。2人が語ってくれた熊本の魅力とは、水や自然などの熊本に住む私たちにとって当たり前のものでした。しかし、それは日常生活の中に当たり前前に浸透していて、その価値になかなか気付くことができません。

「当たり前が幸せ」と小山さん。「熊本の当たり前が他県の人から見ると、驚くこと」も又ザン又ザン。

小山さんは「隣町にも、こんな良いところがあるんですよ」って褒めあえたら熊本はもっと素晴らしい県になる」と話しました。熊本の良さを見つけたら、日本が新幹線であつたがっていくように、自分のことだけでなく、互いに手をつなぐ。たった一人の思いや行動が連鎖し、そこに共感が生まれる。今回の合同企画が、そんなきっかけになればと思います。

おもてなしには忘れてはならない笑顔添えて、熊本にサプライズを起こしましょう。